



各 位

平成 25 年 11 月 8 日

会社名 マルマン株式会社
代表者名 代表取締役社長 出山 泰弘
(コード番号: 7834)
問合せ先 取締役経営管理本部長 中村 修
(TEL: 03-3526-9970)

業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩し、特別損失の計上
並びに期末配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 8 月 6 日に公表しました平成 25 年 9 月期業績予想を修正するとともに、特別損失の計上並びに平成 24 年 11 月 12 日に公表の期末配当予想の修正（無配）をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 25 年 9 月期通期連結業績予想値の修正（平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,200	△ 220	△ 110	△ 400	△ 35.19
今回修正予想 (B)	6,298	△ 322	△ 179	△ 1,340	△ 117.93
増減額 (B-A)	98	△ 102	△ 69	△ 940	-
増減率 (%)	1.6%	-	-	-	-
(参考) 前期実績	6,532	91	12	△ 48	△ 4.54

(2) 修正の理由

売上高につきましては、海外への売上が低迷したものの、新ブランドの店頭設置に伴う売上の計上により、わずかに前回予想を上回る見通しとなりました。

しかし、円安の進行による仕入コストの増加に加え、滞留在庫の処分を行った結果、利益率が低下し、営業利益、経常利益が前回見込みを下回る見通しとなりました。

また、第 4 四半期において投資有価証券の減損処理を行った結果、投資有価証券評価損 294 百万円を特別損失として計上することとなりました。

こうした状況を踏まえ、当社の繰延税金資産の回収可能性の判断を慎重に行った結果、平成 25 年 9 月末において繰延税金資産 712 百万円を取崩す見込みとなり、この取崩しにより税金費用が増大し、当期純利益は大幅なマイナスの見通しとなりました。

2. 特別損失の計上について

(1) 特別損失の内容

当社が保有する「その他投資有価証券」に区分される投資有価証券のうち、匿名組合出資金について、その回収可能性を検討した結果、減損処理を行う必要があると判断しました。これにより投資有価証券評価損 294 百万円を特別損失として計上することとしました。

(2) 平成 25 年 9 月期における有価証券評価損の計上額

(平成 25 年 9 月期の投資有価証券評価損の総額)

	個別	連結
(A) 平成 25 年 9 月期第 4 四半期会計期間（平成 25 年 7 月 1 日から平成 25 年 9 月 30 日）までの投資有価証券評価損の総額 (=イ-ロ)	294 百万円	294 百万円
(イ) 平成 25 年 9 月期（平成 24 年 10 月 1 日から平成 25 年 9 月 30 日）の評価損の総額	294 百万円	294 百万円
(ロ) 直前四半期（平成 25 年 9 月期第 3 四半期）累計期間（平成 24 年 10 月 1 日から平成 25 年 6 月 30 日）までの投資有価証券評価損の総額	—	—

※ 四半期における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、9 月 30 日です。

(純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合)

	個別	連結
(B) 平成 24 年 9 月期末の純資産額	2,420 百万円	2,700 百万円
(A/B×100)	12.2%	10.9%
(イ/B×100)	12.2%	10.9%
(C) 最近 5 事業年度の経常利益額の平均	225 百万円	267 百万円
(A/C×100)	130.6%	110.0%
(イ/C×100)	130.6%	110.0%
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益額の平均	215 百万円	197 百万円
(A/D×100)	136.5%	149.3%
(イ/D×100)	136.5%	149.3%

3. 配当予想の修正（無配）について

(1) 平成 25 年 9 月期 期末配当予想の修正

基 準 日	1 株当たり配当金（円）	
	期末	年間
前 回 予 想 （平成 24 年 11 月 12 日発表）	5 円 00 銭	5 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	0 円 00 銭	0 円 00 銭
当 期 実 績		
前期（平成 24 年 9 月期）実績	5 円 00 銭	5 円 00 銭

(2) 配当見送りの理由

当社の配当方針につきましては、株主の皆様への利益配当を第一と考えた上で、財務体質と経営基盤及び今後の事業展開を総合的に勘案して決定しております

しかしながら、平成 25 年 9 月期につきましては、「1. 業績予想の修正について」に記載の通り、当期純損失 1,340 百万円（連結）を計上する見込みとなりましたことから、誠に遺憾ではございますが期末配当金を見送ることとさせていただく予定でございます。

今後、全社一丸となって業績回復に取り組み、早期に株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力して行く所存でございます。株主の皆様におかれましては、何卒事情ご賢察の上、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

以上